

国際会計論 Exercise

Chapter 4: IFRS の基礎的特徴

* 解答はすべて解答用紙に記述してください。

- 問1 会計基準の設定方法である演繹法と帰納法の特徴について、200文字程度で説明しなさい。
- 問2 会計基準の規定内容の特徴とされる原則主義と細則主義の特徴について、200文字程度で説明しなさい。
- 問3 IFRSの概念フレームワークでは、「収益費用観 (Revenue-Expenses View)」と「資産負債観 (Assets-Liabilities View)」の対立があり、近年では「混合会計観 (New Accounting View)」が採用されるようになっている。混合会計観とは何かを説明し、従来の収益費用観や資産負債観との違いについて、400文字程度で説明しなさい。
- 問4 A社は売買を目的にX社の株式1,000株を@1,000円(合計1,000,000円)で取得していた。決算時の時価をみると@1,600円となっていた。投資者の視点から、A社の貸借対照表上の金額はいくらが適切か、概念フレームワークの財務報告の目的、有用な財務情報の質的特性、財務諸表の構成要素の定義、認識と測定の見点からそれぞれ説明しなさい。

国際会計論 Exercise 解答用紙

Chapter 4	ID Number	Name	Grade
IFRS の基礎的特徴			

問1

問2

問3

問4

